

国語科の学習について（第2学年）

1 国語科の目標

- 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。
- 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 学習計画

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> • 詩「虹の足」 • 詩「春でえむん」「麗日」 • 小説「タオル」 • 説明「日本の花火の楽しみ」 • 説明「水の山 富士山」 • 硬筆 • 文法「活用のない自立語」 • 言葉「敬語」 • 言葉「話し言葉と書き言葉」 • 読書「夢を跳ぶ」 • 読書「悠久の自然」 	<ul style="list-style-type: none"> • 小説「夏の葬列」 • 読書「字のない葉書」 • 説明「紙の建築」 • 評論「ガイアの知性」 • 短歌「短歌の味わい」 • 文法「活用のある自立語」 • 古文「随筆の味わい—枕草子・徒然草—」 • 漢文「二千五百年前からのメッセージ—孔子の言葉—」 • 読書「坊ちゃん」 • 毛筆 書き初め 	<ul style="list-style-type: none"> • 評論「学ぶ力」 • 古文「敦盛の最期—平家物語」 • 文法「付属語のいろいろ」 • 言葉「類義語・対義語・多義語・同音語」 • 小説「走れメロス」 • 百人一首

3 評価の観点 評価の資料

観 点	内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> • 常用漢字を文や文章の中で正しく書いたり、読んだりする。（小テスト、定期テスト等） • 理解したり表現したりするための語句の量を増やし、慣用句や四字熟語などについての理解を深め、話や文章の中で使う。（小テスト、定期テスト、作文等） • 敬語を理解し、適切に使う。（小テスト、定期テスト、作文、発表等） • 日本語の特徴や、文の決まり（文法）を正しく理解する。（小テスト、定期テスト） • 歴史的な背景を理解して、古典を読み、その世界に親しみながら、時間の経過による言葉の変化や違いを理解する。（定期テスト等）
思考・判断・表現	<p>【話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 目的や場面に応じて、自分の立場や考えを明確にし、相手に自分の考えを分かりやすく伝え、説得できるように、話を構成するなど、工夫をする。（発表、プリント、話し合い活動等） <p>【聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価し、さらに自分の考えを広げ、深める。（発表、プリント、話し合い活動等） <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 分かりやすい文章になるように、文章を組み立て、伝えたいことを明確にする。（プリント、定期テスト、作文等） <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文章の種類を理解し、文章の構成や論理の展開、表現の仕方などを捉える。（プリント、定期テスト等）
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> • 粘り強く作業に取り組む。（観察、ワークシート） • 学習したことを生かして課題に取り組んだり、学習の見通しをもって課題に取り組んだりする。（観察）